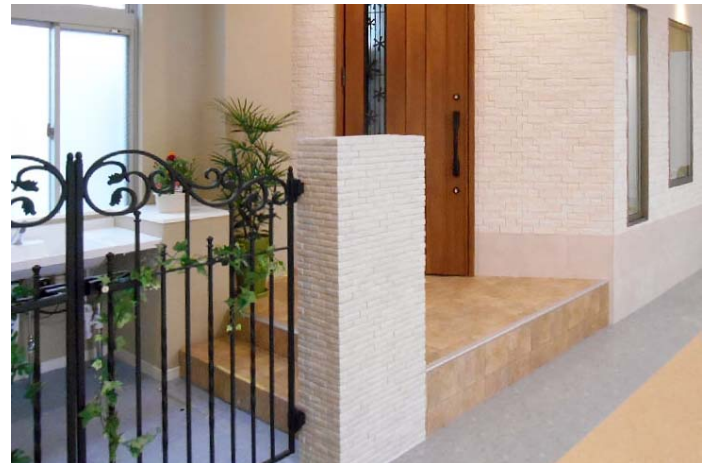


国土交通省 平成27年度第1回
サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型) 採択プロジェクト

リハビリの効果向上と健康・見守りを実現する 「デイサービス連携」住宅

提案者名
サンアドバンス株式会社
代表取締役 細井昭宏

健康サロン「サンアドバンス緑ヶ丘」



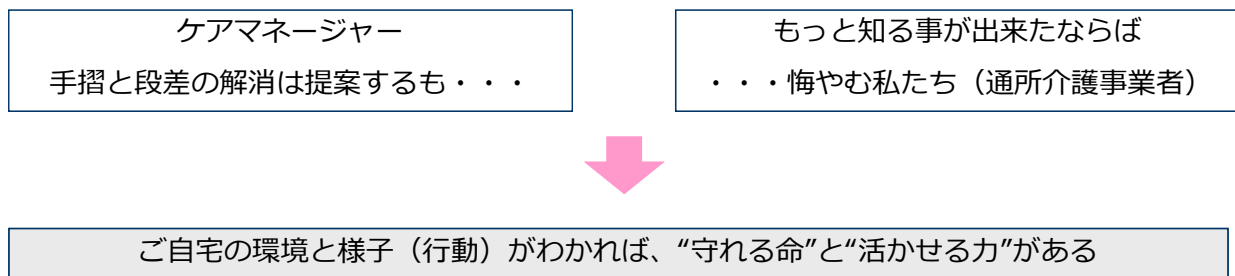
施設から居宅への政策の中～「通所介護事業所」に通う高齢者の現状～

気づかない本人・・・ひとり暮らし、寒い家、暑い部屋

- ・2014年1月（女性）：来所持の血圧が、**3回連続で乱れる**。遠方のご家族に連絡し3日後に病院に行く事が決まる。しかし、**2日後外出先で脳梗塞が発症**（当日朝の血圧も異常があったらしい）
- ・2014年4月（男性）：契約訪問。食事、TV、着替え等**ベッドの上で全てを済ませる**。**寒さゆえの習慣**。床は波打ち、トイレ、浴室のドアは腐っている
 ……**これではリハビリの効果が低下してしまう**
- ・2015年2月（女性）：契約訪問。リビングにストーブ3台でも寒い（築約35年）
 初回来所時、血圧高&看護師が問診
 →**気になる**。一週間後、**ご自宅のお風呂で溺死**

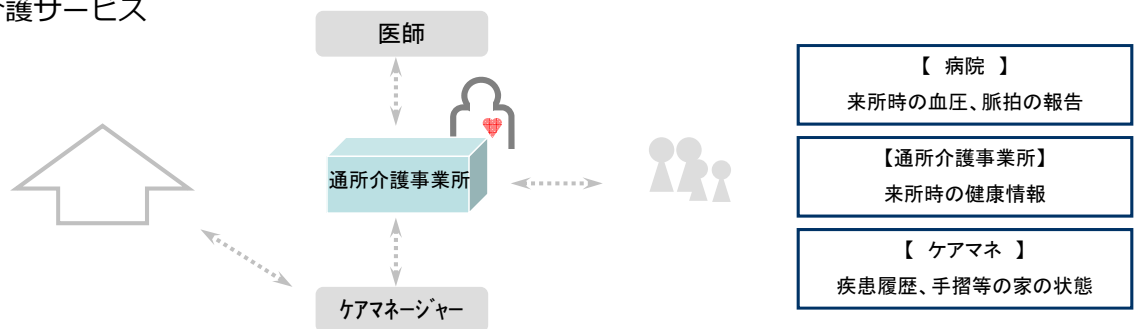
気づかない家族・・・2世帯住宅、優しさゆえ

- ・互いを思いやる母と娘。看護師として働く娘さんの体を労わり「**夜中のトイレはほぼ毎日**」だが「**家族にばれない様に行く**”お母さん。しかし、お母さんには**心疾患があり、急激な温度変化は避けたい**」

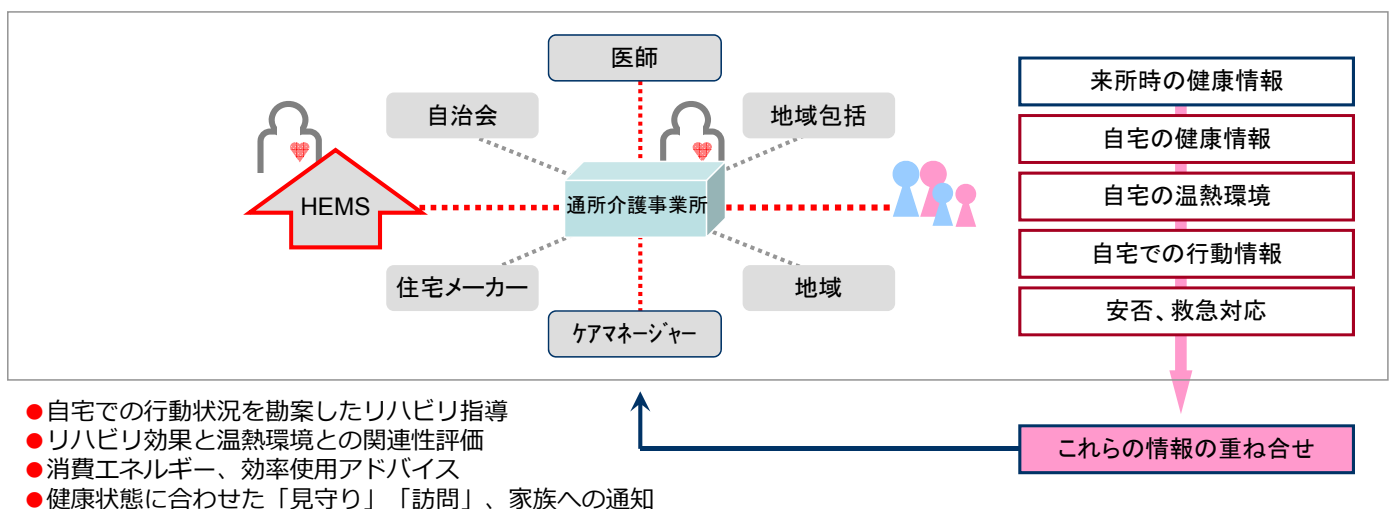


これまで実施している介護サービスとの連携、違い

これまでの通所介護サービス

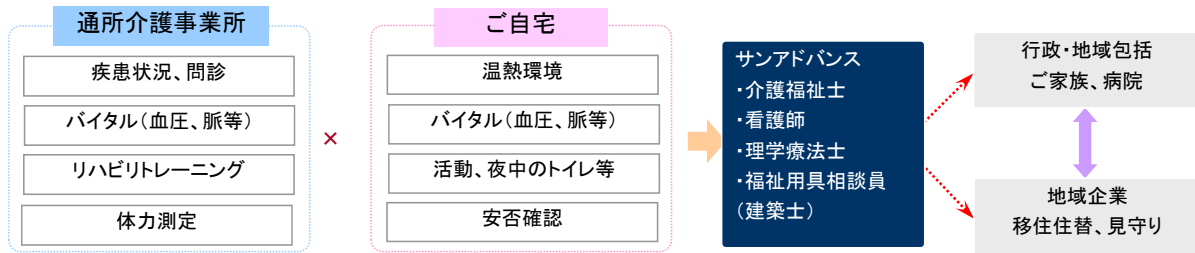


これからの通所介護サービス

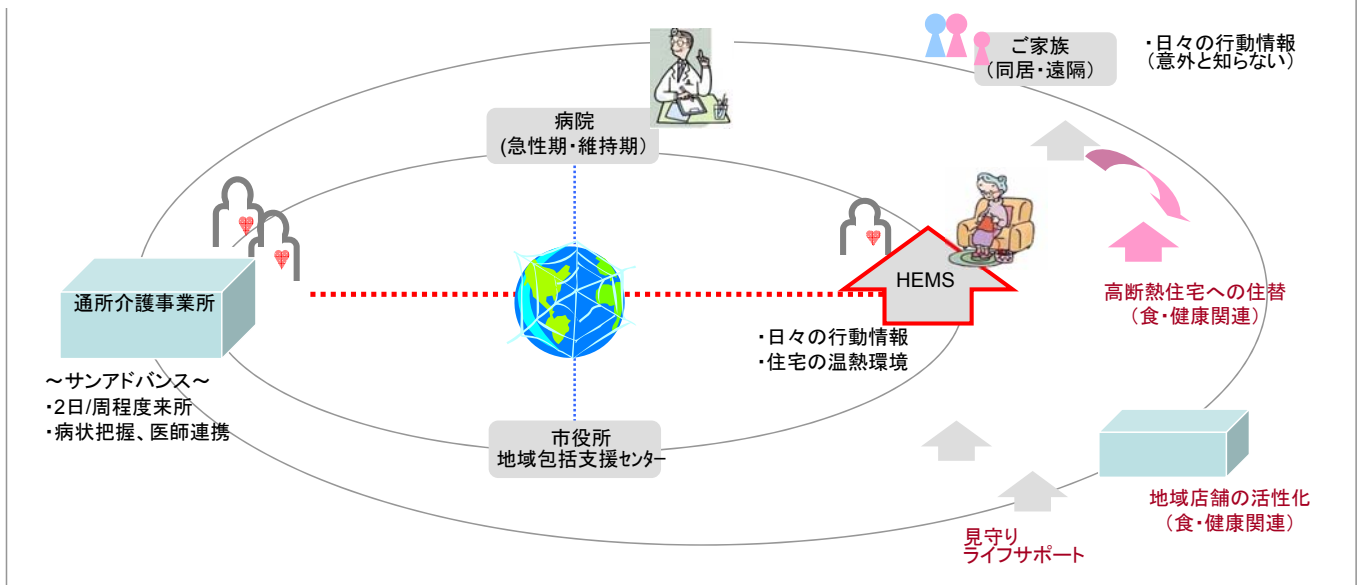


自宅と通所介護事業所の2拠点の情報を活用した地域活性

1. 通所介護事業所（サンアドバンス緑ヶ丘店：大阪府豊中市）に集められる2拠点情報と活用先

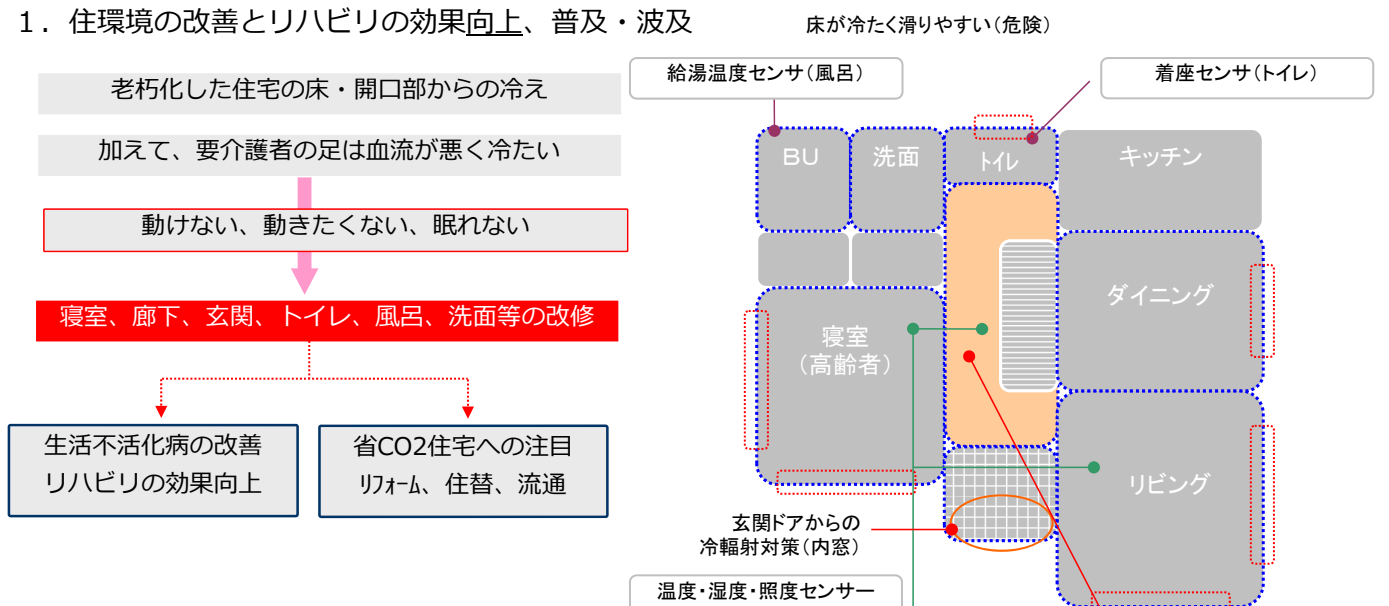


2. 「千里ニュータウン」と周辺地域の課題解決と地域活性

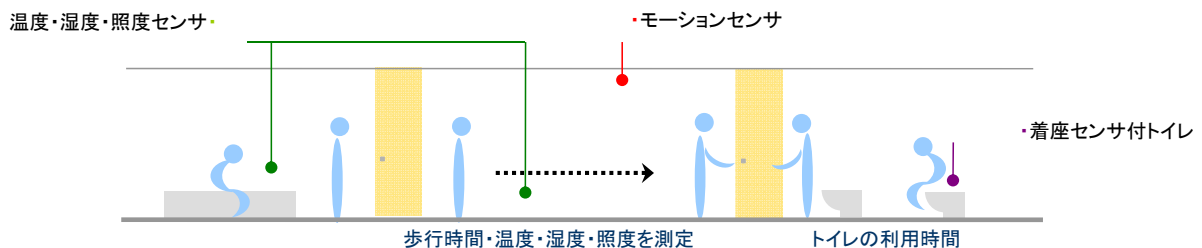


導入する先導的な技術～活動しやすい住環境へ～

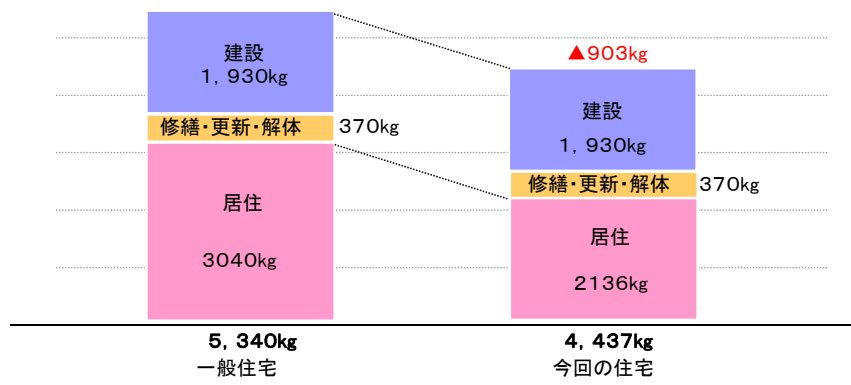
1. 住環境の改善とリハビリの効果向上、普及・波及



2. 行動の見える化 = リハビリの効果向上と家族の優しさへ



省CO2削減効果



通所介護施設でリハビリをして
更に断熱の高い住宅で、
日常生活が活発になれば
冷暖房の消費量が減り
“健康と省エネ”に繋がる
～見える化で更に実感～

	CO2削減
①HEMS見える化の効果	
・消費エネルギーの見える化（自身に加え、他の高齢者との比較、アドバイス）	304kg
・温度等の建物環境の見える化（健康省エネアドバイス）	
②リハビリ筋力・体力アップによる省エネ	304kg
・体力測定、アンケート調査	
③床断熱フローリング（畳から滑りにくい床材へ等）	
・次世代省エネ基準	36kg
・主寝室、廊下、トイレ、洗面、居間	
④開口部断熱（老朽化したサッシへの内窓設置）	114kg
・主寝室、玄関ドア、トイレ、居間	
⑤設備の入れ替え	
・給湯温度センサー付断熱バスユニット（滑りにくい床材）	145kg
・着座センサー付トイレ（和式から洋式へ）	
	903kg